

帝塚山大学 2023 年度

特別資格サポート制度

「B 制度」利用ガイド

帝塚山大学 資格コーナー

※問合せ先は【P.2/P.15】に記載

目次

項目		ページ
1.	特別資格サポート制度「B 制度」とは	2
2.	B 制度の利用概要	3 ～ 4
3.	B 制度の利用条件について	5 ～ 9
4.	申込み手続きの方法	10 ～ 14
5.	その他注意事項	15
6.	助成金返還について	16
7.	B 制度対象講座一覧・学習スタイル一覧	17
8.	年間スケジュール	18
9.	予備登録フォーム	19 ～ 20

1. 特別資格サポート制度「B 制度」とは

特別資格サポート制度「B 制度」（以下、B 制度という）は、正課授業（単位が取得できる授業）ではなく、課外講座(※1)を対象とした制度です。

課外講座を受けるためには受講料が必要であり、本来は受講を希望する本人がこの費用を負担しますが、B 制度ではこの受講料(※2)を大学が助成（代わりに負担）し、学生の資格取得や学びを支援する制度です。

※1 課外講座では単位の取得はできません。

学生生活や将来のために役立つ知識や技術を学ぶ講座です。課外講座の受講は任意です。

※2 受講料の中に教材費も含まれています。ただし、検定料と B 制度の年間申込金（後述）は自費となります。

◆ 資格取得をすることのメリット

資格取得を目指す目的は「将来の夢のため」「就職活動に備えたい」「スキルアップをしたい」等、人それぞれですが、資格取得をすることのメリットは大きく 2 つあります。

☆ 技能（スキル）・知識の証明

「自分ができること」「学生時代に何を身に付けたのか」を“形”に残すことができ、就職活動時に履歴書やエントリーシートに書くことができる。

☆ 経験値を上げる

資格取得（検定合格）という「目標」に向けて「計画的に行動」をしたこと、また合格までに「努力をした」という経験をすることで、経験値を上げることができる。

また、資格取得できたことで自分への自信にも繋がります。

◆ 資格コーナーについて

資格取得をサポートするために、帝塚山大学には各キャンパスに「資格コーナー」が設置されています。ここでは、できるだけ効率的に資格を取得するための、課外講座の申込受付や運営、検定試験の手続きを行っています。B 制度について不明点がある場合も、資格コーナーに問い合わせをしてください。

【問合せ先】

TEL：0742-48-9708

Mail：shikaku-h@jimu.tezukayama-u.ac.jp

場所：（東生駒キャンパス）9 号館 2 階／（学園前キャンパス）16 号館 2 階

※お問合せの際、必ず「学籍番号」「氏名」をお伝えください。

2. B 制度の利用概要

B 制度を利用するためには、様々な条件やルールがあります。この『利用ガイド』の内容は必ず読んで、理解をしてください。不明点がある状態で申込みはせず、あらかじめ資格コーナーに確認をしてください。

◆ B 制度を利用するために必要な手続き

B 制度を利用するためには、次の 3 点が必要です。

1. 本資料（利用ガイド）に記載している手順・規則に基づいて手続きを行うこと
2. （受講当選者のみ）年間申込金を支払う ※年間申込金＝5,000 円
3. （受講当選者のみ）検定試験の検定料を支払う ※検定試験がないものは不要

※申込み手続きについては【P.10～14】にて詳細を説明します。

◆ B 制度利用条件

この制度の申込手続きを行い、課外講座の受講ができることになった場合、次の条件を厳守しなくてはなりません。

- ① 出席条件
- ② 検定試験の受検

《条件を満たさなかった場合（1 つもしくは両方）》

対象となる講座の受講料（帝塚山大学在学学生価格）を**全額大学へ返還（助成金返還）**していただきます。（詳細は【P.16】）

≫ 注意 ≪

- **B 制度を利用するには利用条件を厳守する責任があります。**
「助成金返還のリスク」が伴っていることを理解してください。
保護者（学費負担者）の方も含めてしっかりこの責任（リスク）があることを
了承した上で制度を利用してください。

◆ B 制度が利用できる対象講座

B 制度は対象講座のみ利用することができます。対象講座は【P.17】にて確認して下さい。

≫ 注意 ≪

➤ 利用できるのは年間 5 講座まで

年度内（4 月～翌年 3 月末まで）に B 制度が利用できるのは 5 講座が上限です。
同じ資格講座を 2 回受講した場合も、年間 5 講座の内 2 講座として扱います。

➤ 2023 年度入学生（1 年次生）の B 制度利用について

B 制度の利用対象講座であっても「前期」では B 制度の利用ができません。

B 制度を利用する際は、「夏期集中」「後期」「春期集中」で利用してください。

※1 年次生は、大学生活に慣れることを優先してください。

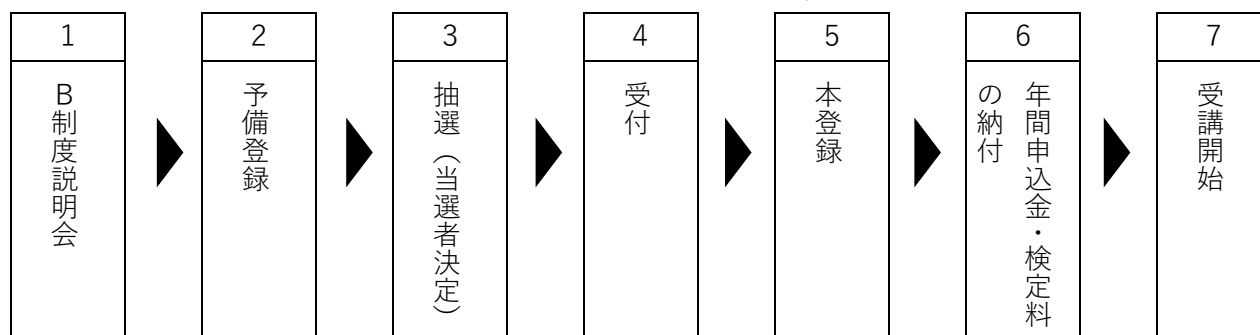
※学部の履修指導で具体的な説明がある場合は、学部の指導に従ってください。

➤ 2021 年 4 月以前の入学生および編入生

B 制度対象年度生ではありません。一般申込にて課外講座の申込みをしてください。

◆ B 制度利用の流れ

B 制度を利用して課外講座を受講するまでの流れは次の通りです。



利用方法や注意事項などの詳細はこのページ以降に記載します

≫ ! 必ず確認してください ! ≪

3. B 制度の利用条件について

ここでは B 制度利用条件である「出席条件」と「検定試験の受検」についての詳細を記載します。

◆ 出席条件について

出席条件は、各講座の「学習スタイル」によって条件が異なります。

以下、学習スタイル別の出席条件です。（各講座の学習スタイルは【P.17】で確認してください）

学習スタイル	出席条件
ブレンド型	✓ 対面授業の日数に対して出席率が 50%以上 ✓ 動画教材(※1)の学習進捗率が指定期日までに 80%以上
オンライン型	✓ 動画教材(※1)の学習進捗率が指定期日までに 80%以上
対 面 型	✓ 授業日数に対して出席率が 80%以上
ライブ授業型 (※2)	✓ 授業日数に対して出席率が 80%以上

◆ 検定試験の受検について

B 制度を利用して受講する課外講座に検定試験がある場合、必ず受検をしてください。

《検定試験について》

- 試験日は資格コーナーから案内がある試験日（試験期間）にて受検をしてください。
- 検定試験が二部構成になっている等、複数回受検が必要な場合は、定められているすべての試験を受けてください。

《検定料について》

- 検定料はすべて自己負担です。（B 制度で助成されるのは受講料のみ）
- 一旦納付された検定料は、検定協会の規定により返金することができません。
- 資格コーナーが指定する期日までに検定料を納付しなければ受検することはできません。
受検できない場合は助成金返還となる可能性があります。

《※1：動画教材の学習進捗率について》

- 動画教材は専用の学習システムを使用します。（講座開始前に別途案内します）
- システム上で記録された情報をもとに学習進捗率を確認します。
- 指定期日は、検定試験日もしくは資格コーナーにて事前に案内する期日です。
- 動画教材の学習進捗率が80%以上であっても、時間数に対してシステムに記録されている学習時間数が著しく短い場合は、学習進捗率を無効とする可能性があります。
- 通信環境の整備は個人の責任において行ってください。通信環境が悪い等の理由で出席条件の考慮はできません。大学のパソコン教室を利用する場合は、情報教育研究センターへあらかじめ相談してください。

《※2：ライブ授業型について》

- zoom 等を使用してリアルタイムで授業を Web 配信し、あらかじめ決められている授業スケジュールで講座を実施します。
- 出席率が80%以上であっても、受講姿勢がふさわしくないと判断した場合は出席とみなしません。（例：zoom には接続しているものの授業を聞いていない、課題が未提出等）
- 通信環境の整備は個人の責任において行ってください。通信環境が悪い等の理由で出席条件の考慮はできません。

◆ 「遅刻」「早退」「欠席」の取扱について

「遅刻」「早退」「欠席」の取扱内容については、対面型・ブレンド型・ライブ型での対面授業に当てはまります。

やむを得ず「遅刻」「早退」「欠席」をする場合は、事前に資格コーナーへ連絡をしてください。

遅 刻

- 「遅刻」として認められるのは、授業開始時刻から9分59秒までに入室した場合のみ
 - 10分00秒以降の入室は「欠席」扱い（入室後から授業に参加することは可能）
 - 入室時刻は講師の手元にある電波時計で確認をする
- 遅刻を3回した場合は、欠席1回として扱う（3回目の遅刻日を欠席扱い）

早 退

- 「早退」として認められるのは、その日の授業時間に対して半分以上受講してから退室した場合のみ（例：その日の授業が3時間の場合、1時間半以上授業を受けている）
 - その日の授業時間に対して半分経過するよりも前に退室した場合は「欠席」扱い
 - 早退は、体調不良等やむを得ない場合に限り認める（クラブ活動、アルバイト等は認めない）
- 早退を2回した場合は、欠席1回として扱う（2回目の早退日を欠席扱い）

欠 席

- その日の対面授業に出席ができない場合
- 授業開始時刻から 10 分 00 秒以降に入室した場合
- その日の授業時間に対して半分経過するよりも前に退室した場合
- 学習環境を乱す行為があり受講を中断させる場合

《遅刻・早退・欠席について考慮できる場合》

次のいずれかに当てはまる場合は、遅刻・早退・欠席となった場合も考慮することができます。
ただし、所定の手続き（提出物等）を期日までに必ず行ってください。（手続きがない場合は考慮できません）

考慮される理由（※1）	所定の手続き	期日	窓口
公共交通機関の不通	公共交通機関の証明書を提出	授業日から 7 日以内	資格コーナー
特別警報・暴風警報	● 学生手帳に記載された警報・対象地域のみ ● 警報と地域をメールで連絡	授業日当日	資格コーナー
公認欠席 （学生手帳記載の事由によるもの）	● 学生手帳記載の公認欠席届および必要書類 ● 学校感染症にかかった場合は、医療機関の診断書も必要	授業日翌日から 14 日以内	所属学部の 教学支援課 窓口
正課授業の補講日と重複 （※2）	出席証明書（※3）を提出	授業日から 7 日以内	所属学部の 教学支援課 窓口

- ※1 特別警報・暴風警報以外の理由の場合も、発生・発覚した日から 3 日目以内に資格コーナーへ連絡をしてください。（3 日目が閉室日の場合はその翌日）
- ※2 補講などの突発的に実施が決定した授業（課外講座申込後に日時が決定された正課授業）にのみ適用します。正課授業を優先してください。
- ※3 必要事項はすべて記載してください。
正課授業の補講担当者の署名・捺印も必要です。（捺印がない場合はサインでも可）

《遅刻・早退・欠席について考慮できない場合》

次の理由の場合は、遅刻・早退・欠席となった場合であっても考慮はできません。

考慮できない場合	理由
公認欠席以外の事由	学校感染症以外の病気の場合は一切考慮できません。 課外講座の授業回数・時間・内容は必要最低限で構成しています。そのため特別な配慮はできません。 持病があるなどあらかじめ体調面等で不安がある場合は、事前（申込前）に、考慮対象にならないことを踏まえた上で検討・判断をしてください。
あらかじめ時間割に定められている正課授業と重複している場合	時間割に定められている正課授業と重複している場合、課外講座は受講できません。 そのため、毎回所定の手続きを行っても考慮はしません。 （出席条件を満たさない場合は助成金返還の対象となります）

》 注意 《

➤ 学習環境は全員で協力して整えましょう！

授業中に私語やスマートフォンを触っている、居眠りをしている等、学習環境を乱すと判断した場合は、受講中断の指示をだし、その日を含む以降の授業も「欠席」として扱います。その結果、出席条件が満たせない場合も助成金返還の対象となります。

講座を受講している全員で集中できる学習環境を作りましょう。

◆ 「留学」および「退学」「休学」「停学」等の取扱について

留学もしくは退学、休学、停学が決定した場合であっても、B制度の利用条件のルールは課せられます。また、開講前の課外講座であっても、助成金の返還や教材費の納付が発生する可能性があります。

≫ 注意 ≪

➤ 休学中・停学中は原則講座の受講はできません

本学に在籍中で休学・停学の期間中は講座を受講することは原則できません。

ただし、学部などの指導による特殊な事情が認められる場合は、資格コーナーへ事前に相談をしてください。

➤ B制度の利用期間の順延はできません

休学、停学、留学等でB制度の利用可能期間が短縮された場合でも、利用期間の順延はできません。（本学への入学年度でB制度利用の可否を判断するため）

➤ 「再入学」の取扱について

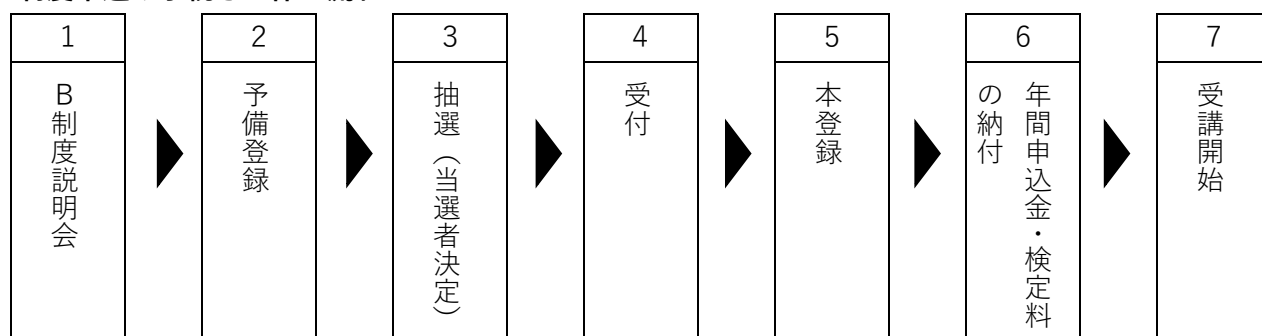
再入学をした場合は、最初に入學した年度を入学年度として扱います。

4. 申込み手続きの方法

B 制度を利用して講座を受講するには以下の手続きが必要です。定めている手続きを行わなかった場合は、B 制度の利用はできません。

また、以下の内容は基本の手続き方法の内容です。今後の状況により手続き方法が変更になる場合があります。（変更が発生する場合は別途ご案内をします）

B 制度申込み手続き全体の流れ



1. B 制度説明会

- B 制度説明会には必ず参加してください。（B 制度を利用できるのは説明会に参加された方のみ）
- 説明会の日程は【P.18】もしくは資格コーナーHPにて確認をしてください。
- B 制度説明会は年度内に 1 度参加すれば、その年度の予備登録をすることができます。
（ここでいう「参加」は説明会内で指示する参加確認方法に従って履歴が残っていることを指します）
- 説明会には複数回参加しても構いません。
- 説明会はオンラインにて実施します。（zoom を使用）
必ず 1 人 1 つの端末で参加してください。（1 つの端末で複数人が参加しても参加とみなされるのは 1 名のみです）

2. 予備登録

- 【P.19～20】に記載されている予備登録専用フォームへ登録をしてください。
- 指定されている登録期間内に登録を済ませてください。
- 登録内容を変更したい場合は、登録期間最終日までに再登録してください。
期間内であれば何度登録しても構いません。最新の登録日時（登録締切日に最も近い日時のもの）を最終の登録内容として取り扱います。

» 注意 «

- **予備登録専用フォームを間違えないようにしてください**
入学年度（年次）や募集期毎にフォームが異なります。
間違ったフォームに登録しないように注意してください。
- **講座情報を確認してから登録してください**
講座内容や授業日程、学習スタイル等の講座情報をあらかじめ確認してください。
特に授業日程はしっかりと確認してください。
課外講座同士で授業日程が重複している場合もあります。誤って重複した講座を登録した場合は、一方の講座が助成金返還となる可能性があります。
- **登録する講座数はよく検討してください**
予備登録専用フォームには5講座まで登録することができますが、5講座すべてを登録する必要はありません。（登録した全ての講座が当選する場合があります（後述））
正課授業やその他の活動と両立できるかをよく検討して登録をしてください。
- **当選確率を上げるための講座登録はやめましょう！**
当選確率を上げるために、同講座を複数登録することはやめましょう。
（同講座の東生駒キャンパス、学園前キャンパスのそれぞれのクラスを登録することも同様です）
全て当選した場合は、当選した数だけ受講するとみなします。（同講座に複数当選した場合は、1つを除きその他全てが助成金返還となります）
- **年間で5講座以上予備登録をした場合、6講座目以降を無効とします**
B制度を利用して講座受講できるのは年間最大5講座までです。上限を超える場合は6講座目以降を無効とします。（無効とする講座を指定することはできません）
ご自身で登録講座や受講数を管理してください。

3. 抽選（当選者決定）

- 講座定員に対して予備登録者数が多い場合にのみ抽選を行います。
（定員以内に収まる場合、抽選はしません）
- 受講が決定（当選）した方にのみ、大学メールアドレス宛に資格コーナーから連絡をしますので、以降の手続きを進めてください。
- 受講決定の連絡がきたものの辞退を希望する場合は【P.14】を確認してください。
- 当選の連絡がなかった場合、一般申込（B制度を利用しない申込）にて、希望講座の受講申し込みをすることができます。

» 注意 «

➤ 抽選がない（登録した方全員が受講決定する）場合があります！

前述の通り、抽選は登録者数が講座定員を超過した場合のみ行います。

定員を超過しない場合や抽選の結果当選となった講座は、原則すべて受講となりますので、一度に受講ができる範囲の講座数を予備登録するようにしましょう。

▼以降は、B 制度を利用して受講決定した方が必要な手続きです▼

4. 受付

B 制度の利用手続きです。（注意：講座申込の手続きではありません）

- 窓 口：資格コーナー（どちらのキャンパスでも可）
- 持 ち 物：誓約書、スマートフォン、学生証

※「誓約書」は正しく記入されていないと受理できません。

※スマートフォンを持っていない場合は、窓口で申し出てください。

« 「誓約書」の準備について »

留意事項	● 誓約書の内容を、本人及び保護者（または学費負担者）のどちらも必ず確認すること。 ● すべての項目を記入すること。 ● 本人及び保護者（または学費負担者）の署名捺印をすること。 ● 本人・保護者（学費負担者）の捺印は「シャチハタ不可」「それぞれ異なる印鑑を使用」すること。 ● 所属学部アドバイザーの記名押印をもらうこと。 ● 黒のボールペン（消せないもの）で記入すること。
書類の入手方法	2022 年度生…2023 年 3 月に郵送（『資格講座ガイド』と共に郵送） 2023 年度生…入学後のオリエンテーションにて配布 ※資格コーナーHP でもダウンロードができます。 （印刷は各自で行ってください（A4 紙両面印刷））

« 年間申込金の支払いについて »

年間申込金（5,000 円）の支払手続きもこの際に行います。

後日指定の銀行口座へ振込してください。（詳細は後日案内）

5. 本登録

当選した講座の申込手続きです。

- 窓 口：資格コーナー（どちらのキャンパスでも可）
- 持 ち 物：スマートフォン、学生証

※スマートフォンを持っていない場合は、窓口で申し出てください。

6. 年間申込金・検定料の納付

年間申込金の納付について、大学メールアドレス宛に振込案内の連絡をします。

また、検定試験の受検が必要な場合は、検定料納付の案内も併せて連絡をします。

年間申込金および検定料の納付については、受付・本登録手続きの際に改めて説明をします。

（年間申込金・検定料は自己負担です）

» 注意 «

- 受付、本登録、年間申込金・検定料の納付は期日を厳守してください

指定期日までに手続きがない場合、助成金返還になる可能性があり、また他の学生の受講や受検にも影響します。

7. 受講開始

1～6 までの手続きが完了すれば講座を受講することができます。

受講にあたっての詳細は、講座開始前に大学メールアドレス宛にご案内します。

» 注意 «

- 教材配布について

講座で使用する教材は、資格コーナー窓口もしくは教室内（対面授業がある講座のみ）にて配布します。詳細は講座毎にご案内しますので、その指示に従ってください。

◆ 受講辞退について

受講辞退については、以下の内容を確認してください。以下に記載している内容にそぐわない場合は、受講辞退を認めません。

認められる理由	正課授業と時間割が重複した場合 (課外講座申込後に正課授業の時間割が公表された場合)
認めない理由	- 申込をしたことを忘れていた(申込をした講座を自分で控えていなかった) - 学習スタイルによるもの(オンライン授業は受けたくない等) - 受講決定の案内を確認していなかった - 複数の講座(もしくは正課授業)との両立をする自信がなくなった - その他、正課授業との重複以外の理由

《 辞退手続きの方法 》

手 続 期 間 : 【P.18】に記載されている期日内

窓 口 : 資格コーナー

持 参 物 : 学生証、正課授業名と時間割がわかるもの、黒ボールペン(消せないもの)

手 続 方 法 : 資格コーナーにて辞退が認められると判断した後、「辞退届」を記入

》 注意 《

➤ 正課授業の時間割をしっかりと確認しましょう！

あらかじめ正課授業の時間割がわかる場合は、予備登録の際に重複しないように気を付けてください。受講決定の案内が届いたら、もう一度正課授業の時間割と照らし合わせてください。

➤ 辞退受付期間以外の辞退手続きはできません

指定されている辞退受付期間でのみ手続きを行います。
辞退手続きが必要な場合は、必ず期日を厳守してください。

➤ 受講辞退は他学生の学習機会を奪うことになります

受講決定の案内があった方がいる一方で、抽選の結果落選している方もいます。
辞退をするということは、その分の学習機会が損失されているということを理解しておいてください。

5. その他注意事項

B 制度を利用して講座を受講するにあたって、その他の注意点は以下の通りです。

- 課外講座は正課授業と異なり、任意で受講をするものであり、授業回数や時間数、内容については、学習理解や資格取得に向けた最短かつ必要最低限の内容で実施します。
そのため、授業の進行方法や授業内容、学習スタイル等の配慮を申し出られても、特別な配慮をすることはできません。
- 年間申込金（5,000 円）は返金できません。
ただし、受講を希望していた講座がすべて不開講となった場合に限り返金します。
返金を希望する場合は、年度内の最終予備登録期間終了後に資格コーナーへ返金手続き書類を取りに来てください。
なお、返金手続き可能期間は、2023 年度内（2023 年 4 月～2024 年 3 月）です。
- 講座申込者数が最少開講人数に達しない場合は、不開講になる場合があります。
- 各講座の内容やスケジュール、学習スタイルは、学内行事や警報発令等で変更になる場合があります。

帝塚山大学 資格コーナー

TEL：0742-48-9708

Mail：shikaku-h@jimu.tezukayama-u.ac.jp

場所：（東生駒キャンパス）9 号館 2 階／（学園前キャンパス）16 号館 2 階

《開室日・開室時間》

◇ 開室日 資格コーナーHP にて確認してください（閉室日があります）

◇ 開室時間 平日：10 時～17 時／土曜：9 時～13 時

※原則 東生駒キャンパスは月曜日～木曜日開室、学園前キャンパスは火曜日～金曜日開室

※土曜日は、講座がある場合開室です。

※お問合せの際、必ず「学籍番号」「氏名」をお伝えください。



◆資格コーナーHP◆

6. 助成金返還について

前頁までに記載の通り、B制度を利用するには、必要な手続きを行い、利用条件を満たす必要があります。守られなかった場合は、助成金返還の対象となり、返還手続きを行います。

返還金額	対象となる講座の受講料全額（帝塚山大学在学学生価格）
返還方法	学費の振替指定口座から引き落とし
返還時期	資格コーナーから助成金返還対象の案内がきてから約1か月後

《返還対象となった場合の「講座の受講」について》

返還対象となった講座の助成金を返還された場合は、引き続き講座を受講することができます。
返還がされなかった場合は、B制度を利用して受講している他講座も含め全て出席停止処分とします。
その結果、他講座がB制度利用条件に満たなかった場合も助成金返還対象となります。

《返還対象となった場合の「次年度のB制度利用」について》

助成金返還が完了している場合には、次年度もB制度利用が可能です。
ただし、返還ができていない場合、次年度はB制度の利用はできません。

》 注意 《

➤ 留学および休学、停学、退学した場合も助成金返還は必要です

利用条件を満たさない場合は、助成金返還の対象となります。

また、講座開講前であっても利用条件を満たすことができなくなった場合も同様です。

7. B 制度対象講座一覧・学習スタイル一覧

B制度対象講座	対象入学年度								学習スタイル			
	2023年度生				2022年度生				オンライン	ブレンド	対面	ライブ
	前期	夏期 集中	後期	春期 集中	前期	夏期 集中	後期	春期 集中				
就職・公務員試験筆記対策講座					○					○		
公務員試験対策講座（基礎コース）			○				○			○		
Microsoft Office Specialist Word 2019 講座		○	○	○	○	○	○	○		○		
Microsoft Office Specialist Excel® 2019 講座		○	○	○	○	○	○	○		○		
Microsoft Office Specialist PowerPoint® 2019 講座		○		○		○		○		○		
CompTIA®認定試験 講座		○				○					○	
住宅ローンアドバイザー認定試験 講座			○				○				○	
ファイナンシャル・プランニング技能検定 講座 3級			○		○		○			○		
簿記検定 講座 3級		○			○	○					○	
リテールマーケティング（販売士）検定試験 講座 3級			○		○		○				○	
秘書検定 講座 2級		○	○		○	○	○			○		
TOEIC® LISTENING AND READING TEST 入門 講座		○	○			○	○		○			
TOEIC® LISTENING AND READING TEST 基礎 講座		○	○			○	○		○			
国内旅程管理主任者資格取得講座		○				○					○	
色彩検定® 講座 3級		○			○	○				○		
カラーコーディネーター検定試験® 講座 スタンダード		○				○						○
Illustrator® クリエイター能力認定試験 講座 スタンダード		○				○					○	
Photoshop® クリエイター能力認定試験 講座 スタンダード				○				○			○	

《学習スタイルについて》

- **オンライン型**・・・動画教材での学習が中心。オンラインでのライブ配信質問会や講師への質問チャット機能でフォローアップを行う。
- **ブレンド型**・・・動画教材と対面授業（場合によってはオンラインでのライブ配信）を並行して実施する。
- **対面型**・・・講座スケジュールの全日程を対面授業で実施する。
- **ライブ授業型**・・・講座スケジュールの全日程をオンライン（zoom等を使用）でのライブ配信で実施する。

8. 年間スケジュール

	前期	夏期集中	後期	春期集中
説明会	3/13(月)	6/14(水)	8/28(月)	11/13(月)
	}	}	}	}
	3/17(金)	6/20(火)	9/1 (金)	11/17(金)
	※説明会実施時間 … 12:20～13:00 ※実施形式 … オンライン（zoom 等を使用）でのライブ配信 ※期間中の土日は除く（平日のみ）			
予備 登録	3/18(土)	6/21(水)	9/2(土)	11/18(土)
	10:00 AM	10:00 AM	10:00 AM	10:00 AM
	}	}	}	}
	3/27(月)	6/30(金)	9/14(木)	11/27(月)
	10:00 AM	10:00 AM	10:00 AM	10:00 AM
結果 発表	3/31(金)	7/5(水)	9/20(水)	12/1(金)
辞退 受付	4/3(月)	7/6(木)	9/21(木)	12/4(月)
	}	}	}	}
	4/4(火)	7/7(金)	9/25(月)	12/5(火)
受付 ・ 本登録	4/3(月)	7/6(木)	9/21(木)	12/4(月)
	}	}	}	}
	4/17(月)	7/18(火)	10/3(火)	12/14(木)
検定料 納付	本登録完了後に案内			

※予備登録以外の手続きは、資格コーナー開室日・開室時間内での対応に限ります。

必ず事前に開室状況を確認してください。

※学内行事やその他の状況により日程が変更になる可能性があります。その際は都度ご案内します。

9. 予備登録フォーム

各期、入学年度（年次）別の予備登録フォームです。使用するフォームを間違えないように十分注意してください。

！予備登録フォームへ入力する前に、もう一度【P.10～11】の内容を確認しましょう！

◆ 前期 【予備登録期間：3/18(土)AM10時 ～ 3/27(月)AM10時】

2023 年度生（1 年次生）	2022 年度生（2 年次生）専用
前期は B 制度利用の対象ではありません	 https://forms.gle/f5VvkQrK9wZZQpTf8

◆ 夏期集中 【予備登録期間：6/21(水)AM10時 ～ 6/30(金)AM10時】

2023 年度生（1 年次生）専用	2022 年度生（2 年次生）専用
 https://forms.gle/gu5XHbWwAVE5Dr6Q9	 https://forms.gle/dR5uHVVbXTvtacuw5

◆ 後期 【予備登録期間：9/2(土)AM10 時 ～ 9/14(木)AM10 時】

2023 年度生（1 年次生）専用	2022 年度生（2 年次生）専用
 https://forms.gle/CtXF9PcswUqQn8cz7	 https://forms.gle/gCKDmN5ruRxDz6QRA

◆ 春期集中 【予備登録期間：11/18(土)AM10 時 ～ 11/27(月)AM10 時】

2023 年度生（1 年次生）専用	2022 年度生（2 年次生）専用
 https://forms.gle/NPoaJQRW7nrRw4Rs8	 https://forms.gle/nCX5w2CEJwn6WYFi9